

RECRUIT GUIDE

医療法人辰川会 **山陽病院**
山陽腎クリニック
山陽ぬまくま腎クリニック



辰川会グループ

医療法人 辰川会
山陽病院
山陽腎クリニック
山陽ぬまくま腎クリニック
訪問看護ステーション山陽
訪問リハビリテーション山陽
デイサービスさんさん山陽
小規模多機能ホームくさぶか
サービス付高齢者住宅 ケアホームさんよう
福山市地域包括支援センター野上
おひさま保育園

社会福祉法人 さんよう
特別養護老人ホームくさど
特別養護老人ホームしんがい
特別養護老人ホームひかり
ショートステイクさど
ショートステイしんがい
ショートステイひかり
グループホームおひさま
デイサービスセンターくさど
認知症対応型通所介護 ふぁみりえ山陽くさど
小規模多機能ホームつどおう家
小規模多機能ホームひかり
定期巡回・随時対応型訪問介護看護 ケアステーションしんがい
ケアプランセンターくさど

株式会社 くみね
共同住宅 安心の家さんよう

医療と介護の力で 皆様とともに

辰川会グループ 最高責任者
辰川 匡史

広島県の東部地域に充実した透析医療を提供したいとの思いで、父である辰川自光が透析中心の外科医院を開業してはや40年以上が経ち、現在は約560名の職員とともに、医療・介護・福祉を一体的に提供する辰川会グループとなりました。

創業の原点である医療は、山陽病院を中心に外来透析専門の山陽腎クリニック・山陽ぬまぐま腎クリニックの3つを運営しています。市内のさまざまな医療機関から多くの腎不全患者様をご紹介いただき、広島県東部における透析医療の基幹施設としての重責を担っております。

82床の山陽病院は、広く地域の皆様の健康を守るため、内科・泌尿器科・整形外科・外科・リハビリテーション科の5科を標榜し、それぞれに常勤の経験豊かな専門医が診療に当たっています。37床の一般病棟と、在宅復帰を目指す45床の地域包括ケア病棟があります。認知症外来・透析シャント外来・禁煙外来など専門性の高い診療科も開設しています。

2000年からは介護保険の事業も運営しており、特に福山市から運営を委託された地域包括支援センター野上では、予防活動や認知症の専門員を置くなど、地域の高齢者の自立支援に積極的に取り組んでいます。2011年には社会福祉法人さんようを設立し、3つの特別養護老人ホームを中心に、重度や認知症の高齢者のケアを専門として地域を支えています。

2025年に向けて国が提唱する「地域包括ケアシステム」の構築には、「医療と介護、そして地域との連携」がなくてはなりません。辰川会グループでは“ともに歩む”姿勢を忘れず、これからも地域の皆様のお役に立てる事業を運営してまいります。

グループ理念

ともに歩む、ともに生きる

辰川会グループは、患者様・利用者様・ご家族様・職員・地域の皆様、かかわる全ての人たちと手を取り合い、つらいときもうれしいときも、ともに支えあい、いきいきと安心して暮らせる地域を作っていきます。

辰川会クレド

クレドは、辰川会グループ全員の信条です。職員はもちろん、患者様やご家族、地域の方や取引先などからもご意見を収集しながら、職員全員で1年かけて作成しました。私たちはクレドに基づき行動します。



CREC 1 私たちは、誇りを持って働ける辰川会を作ります

- ☞ チャレンジ精神を持ち、自ら考え行動します
- ☞ 出来ない理由を考える前に、出来る方法を考えます
- ☞ 分からないことは、すぐに調べてお答えします
- ☞ 常に向上心を持って勉強を続け、レベルアップし、専門性を高めます

CREC 2 私たちは、「ともに歩む」の思いで、優しく寄り添い、心のこもったサービスを提供します

- ☞ 明るい笑顔で挨拶します
- ☞ 思いを察して、対応します
- ☞ 身だしなみは清潔で控えめにします
- ☞ 分かりやすい言葉でお伝えします

CREC 3 私たちは、チームワークを大切にします

- ☞ 互いに良い点を認め、悪い点は注意し合える職場を作ります
- ☞ 上司・部下・先輩・後輩・職種・部署を越えて、助け合います
- ☞ 自分の間違いを素直に認め、改善します

CREC 4 私たちは、働き易く安全な環境を作ります

- ☞ ものを大切にします
- ☞ すすんで清掃をします
- ☞ 整理整頓を継続します
- ☞ 問題意識を持ち、業務改善を行います

CREC 5 私たちは、地域に根差した辰川会を作ります

- ☞ 地域の人にすすんで挨拶します
- ☞ 医療・介護を通して、地域のお役に立てることを喜びとします

辰川会グループについて

1978年4月、辰川自光前理事長が「福山の地に、質の高い透析医療を！」と熱い思いをもって霞町で「霞町外科」を開業し、第1歩を踏み出したことから始まりました。



福山でまだ透析施設が少なかったころ、透析中心の外科医院を開業

1978年4月 「霞町外科」開業 (福山市霞町 住友生命ビル内)
入院ベット10床、透析装置32台
11月 霞町外科から「山陽クリニック」に名称変更

1981年8月 野上町2丁目へ新築移転 (現在の場所へ)
入院ベット19床、透析装置40台

透析患者様が増加し、外来透析の専門施設を開設

1994年2月 山陽クリニックは「山陽病院」に名称変更
新たに「山陽腎クリニック」開設 (野上町1丁目)
透析装置50台

介護保険のスタートに合わせ療養病棟ができ、医療から療養へ拡充

2000年2月 山陽病院西館完成
機能訓練室、特殊浴室、多目的ホールなど

介護が必要な透析患者様が増加し、介護事業をスタート

2003年1月 デイサービスさんさん山陽開設
介護事業所の利用を断られる透析患者様向け

介護事業本格化

2006年4月 福山市地域包括支援センター野上開設
地域高齢者の総合相談窓口、予防活動実施

沼隈地域に透析と一般診療を行うクリニックを開設

2010年9月 山陽ぬまくま腎クリニック開設
小規模多機能ホームくさぶか

透析患者様の高齢化が進み、在宅復帰が難しくなってきたため特養を開設
同時に認知症対応型デイサービスや小規模多機能ホームなども開設

2012年4月 特別養護老人ホームくさど開設
併設：デイサービスセンターくさど



2016年2月 山陽病院建て替え
一般病床82床に増床
理事長交代 辰川匡史

2017年5月 特別養護老人ホームしんがい開設



2018年7月 山陽腎クリニック全面改築
透析装置121台

認知症患者様が増加し、認知症高齢者対象の少人数共同生活施設を開設

2020年4月 グループホームおひさま開設



2022年3月 ケアステーションしんがい開設
特別養護老人ホームしんがいの内

2023年7月 特別養護老人ホームひかり開設
小規模多機能ホームひかり



2024年3月 グループホームおひさま増設

※●は医療法人辰川会、○は社会福祉法人さんよう

医療・介護・福祉を一体的に提供し、トータルでサポートします



基本方針

- ・ 患者様の権利擁護を常に心がけ、医の倫理に基づいた診療を行います
- ・ 地域の医療施設・介護福祉施設と連携し、患者様の希望にお応えします
- ・ 事故防止と業務改善に努め、安全で質の高い医療を提供します



- 院長 : 狩野岳士 (整形外科)
 名誉院長 : 松木暁 (泌尿器科)
 名誉院長 : 水谷雅己 (泌尿器科)
 副院長 : 末丸俊二 (内科)
 診療科目 : 内科・外科・泌尿器科・整形外科・リハビリテーション科
 その他 : 人工透析、シャント外来、禁煙外来、もの忘れ外来
 健康診断・人間ドック



[診療時間]
 9:00~13:00/14:00~17:30
 ※土曜の午後・日曜・祝日は休診

- 病床数 : 82床 (一般病棟 37床/地域包括ケア病棟 45床)
 看護基準 : 急性期一般入院基本料 4
 平均在院日数 : 約13.8日 (2022年度 一般病棟)
 人工透析装置 : 19台
 透析患者数 : 約30名
 認定・指定
- ◆ 指定自立支援医療機関 (更生医療)
 - ◆ 労災保険指定医療機関
 - ◆ 救急指定病院
 - ◆ 輪番制二次救急指定病院
 - ◆ 日本医療機能評価機構認定病院3rdG:Ver.2.0
 - ◆ 日本透析医学会認定施設
 - ◆ 日本外科学会外科専門医制度関連施設

1978年に福山市霞町で病床数10床、人工透析装置32台を備えた「霞町外科」から始まりました。1981年に現在の地に移転し、1982年には法人となるとともに診療所から病院へ種別変更し、増床を繰り返し現在に至ります。



霞町外科





ISO9001に基づいた品質管理

- ・ 広島県東部の質の高い透析医療を提供しつづける施設作りを目指す
- ・ 快適な透析ライフを支援する
- ・ 医療の品質に対して組織として取り組み、改善を続ける



院長 : 池辺宗三人 (外科)

診療科目 : 透析外科・透析内科 **透析に特化**

人工透析装置 : 121台

透析患者数 : 約290名

認定・指定

- ◆ 指定自立支援医療機関
- ◆ 労災保険指定医療機関
- ◆ ISO9001:2015認証取得
- ◆ 日本透析医学会専門医制度教育関連施設



[診療時間]
月・水・金 8:30~23:00
火・木・土 8:30~17:00

[併設]
デイサービスさんさん山陽

医療法人辰川会 山陽ぬまくま腎クリニック



院長 : 辰川匡史 (内科)

診療科目 : 透析外科・透析内科・外科・内科 **透析と一般診療**

人工透析装置 : 40台

透析患者数 : 約55名



[診療時間]
月・水・金 8:30~17:00

[併設]
小規模多機能ホームくさぶか



理念

私達は患者様の権利擁護を常に心がけ、安全・安心な看護を目指します

基本方針

1. 安心して療養できる環境を提供します
2. 専門職として看護の知識・技術を高める努力をします
3. 患者様に必要な医療・介護の連携をはかります
4. 地域社会のニーズに応じます

看護体制

看護配置

急性期一般病棟 10 : 1 (看護補助者を各病棟に配置)

地域包括ケア病棟 13 : 1

病棟は2交代制/外来・手術室・病院透析室は日勤のみ



※夜勤の導入はプリセプターと一緒に、勤務人数を増やし不安・負担のない状態ではじめます。仕事も家庭も大切にするワークライフバランスに取り組んでおり、子育て中は、夜勤免除や短時間勤務、パートタイム勤務も可能です

教育理念

病院と看護部の理念に基づき、医療チームの一員として質の高い看護実践ができる人材を育成する

教育目標

- ・エビデンスに基づいた責任ある行動がとれる専門職の育成
- ・患者の権利を尊重し、安全で効果的な実践ができる専門職の育成
- ・組織の一員として良い人間関係を保ち、チーム医療を実践できる専門職の育成
- ・常に質の向上を目指し、自己啓発を図ることができる専門職の育成

ユマニチュードの取り組みについて

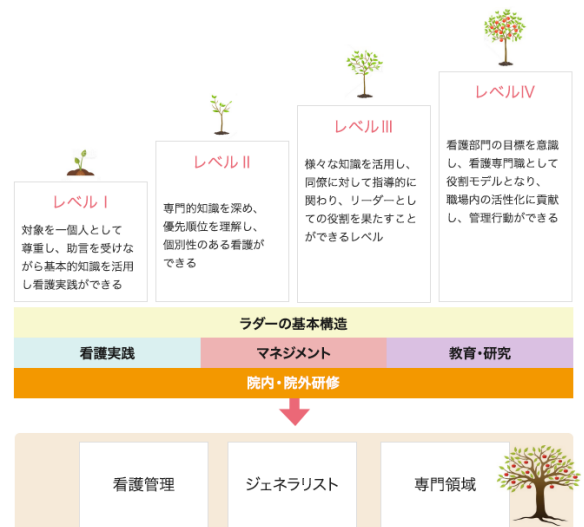
山陽病院3階病棟(地域包括ケア病棟)ではユマニチュードの取り組みを行っています。

ユマニチュードとはフランスで生まれた優しさを伝えるケア技法です。ユマニチュードは「見る」「話す」「触れる」「立つ」を4つの柱に、5つのステップを踏んでケアを行います。

ユマニチュードに少しでも興味を持った方、ユマニチュードについて知りたいと思った方は日本ユマニチュード学会のHPをご覧ください。 <https://jhuma.org/>



クリニカルラダー



辰川会グループの理念「ともに歩む、ともに生きる」のもと、看護部では医療・介護を通して、職員一人ひとりが「ともに」の思いで関わることを大切にしています。

看護職は、医療部門の外来、病棟、透析・手術、在宅部門の訪問看護、介護施設があり、様々な分野でやりがいをもって働いています。急性期一般病棟では、整形外科の術前術後、心不全、腎不全の急性増悪、血液透析・腹膜透析の導入時の看護。地域包括ケア病棟では、急性期から安定期に入り在宅生活を見据えた退院支援や看取り期など患者様にじっくり関わる看護。外来では、療養指導やフットケアなど健康維持増進に向けた看護をしています。

日頃から職員には「なりたい自分」をイメージして自己研鑽するよう話をしています。キャリアアップを積極的に支援すると同時に、管理者から研修参加を推薦する場合もあります。また、ワークライフバランスも大切に、個々のライフスタイルに合わせた職場配置も考慮しています。職員全員が医療・介護の現場で自分の成長を実感しながら笑顔で働けるように全力でサポートします。



藤井看護部長

看護部は家庭的な雰囲気の職場です。毎日笑顔で元気に挨拶！お互いを思いやる言葉と態度を大切にしています。

新人スタッフの声



1年目は、1か月ごとに目標を立て評価していくことで、1つずつ確実に業務を習得できる体制が整っています。自分のペースに合わせて目標が立てられるため、焦らず業務を行うことができます。また、新人研修では看護技術の実践を行ったり、注意点も細かく指導してもらえるため、研修で知識と技術が身につく、現場ですぐに生かすことができます。医師をはじめ、言語聴覚士や薬剤師による勉強会もあります。

仕事内容（1年目）

担当の患者様一人ひとりに合わせた日常生活動作（排泄介助、清拭など）の援助を行っています。患者様の入院時にはご本人とご家族の方から情報収集を行い、各々に合った計画を立てたり、書類作成をします。1年目はプリセプターが付き常にペアで動くため、1対1で丁寧に指導してもらえます。



スタッフインタビュー

委員会活動

医師をはじめ、看護師や多職種が委員会に所属し定期的に活動しています。



院内感染対策委員会



医療安全管理委員会

部署や病院単位、グループ全体など様々な活動があります。この他、

- 排泄ケア委員会
- 糖尿病教室委員会
- サービス・接遇向上委員会
- N S T委員会
- 薬事委員会
- 看護記録委員会
- 業務改善委員会
- 教育委員会 などがあります。



褥瘡対策委員会



認知症サポートチーム



山陽病院透析室



山陽腎クリニック

山陽ぬまくま腎クリニック



山陽病院は、広島県東部の基幹病院としての役割を果たしており、他院から紹介されて来られる患者様も少なくありません。透析ベッド数は19床（個人用監視装置2台を含む）で、オンラインHDF（血液濾過透析）にも対応しています。主に入院患者様の新規透析導入や維持透析を中心に行っており、山陽腎クリニック・山陽ぬまくま腎クリニックと連携を図り、患者様にとって最適な透析治療を安全に提供できるよう情報共有を密に行っています。



山陽病院透析室
村上主任



山陽腎クリニック
宮田教育主任

山陽腎クリニック・山陽ぬまくま腎クリニックは、医師、看護師、臨床工学技士をはじめ多職種が連携し、患者様が安心して透析治療が受けられるよう質の高い医療提供に努めています。また、生活支援が必要な高齢患者様に対し、居宅介護支援事業所とも連携を図り、医療と生活の両面からサポートしています。

山陽腎クリニックは透析ベッド数121床を有し、透析患者様の生活様式に対応した午前透析・午後透析・夜間透析の3つの時間帯で血液透析を行っています。現在、月水金（3クール）、火木土（2クール）で対応しており、約300名の患者様が透析治療のために通院されています。

山陽ぬまくま腎クリニックは透析ベッド数40床を有し、現在、月水金（2クール）のみ血液透析を行っており、約55名の患者様が通院されています。

臨床工学技士は、総勢43名が在籍しています。透析条件検討委員会やバスキュラーアクセス管理委員会を設置し、透析方法・治療条件の検討、超音波診断装置によるバスキュラーアクセスの評価など、患者様の合併症予防を行っています。また、ポータブルエコー機によるエコー下穿刺や穿刺技術を階級分類した穿刺マイスター制度を導入し、穿刺技術の向上に努めています。患者様に安心・安全な透析治療の提供、合併症予防を行うために、カンファレンスや勉強会の実施、学会発表を行い、知識の向上にも力を入れています。

スタッフの声



透析室 リーダー
臨床工学技士
赤柴さん

リーダーとしてスタッフの指導や業務改善などを行っており、非常にやりがいを感じています。みんな仲が良く、毎日楽しく仕事をしている雰囲気、ぜひ病院見学で感じてみてください。

入職当初は覚えることが多く大変でしたが、先輩から優しく丁寧に教えてもらえ、コミュニケーションの取りやすい環境です。また、患者様と接する機会が増えるにつれ、患者様からの声かけや任されることも多くなり、非常にやりがいを感じています。



臨床工学技士
森永さん

透析業務を行う中で、それぞれの患者様にあった治療条件を検討したり、勉強会が開かれたりと日々学びながら知識を増やすことができます。スタッフ同士仲が良く、困ったことがあれば相談しやすい環境です。



臨床工学技士
天野さん



スタッフの声

リハビリテーション科について

理学療法士
作業療法士
言語聴覚士

リハビリテーション科には、理学療法士15名、作業療法士7名、言語聴覚士3名、歯科衛生士2名、助手2名の合計29名のスタッフが在籍しています。

急性期から回復期、退院後の支援として外来、通所介護や訪問リハビリ、2012年からは特別養護老人ホームでのリハビリを、2014年4月からは地域包括ケア病棟でのリハビリを開始するなど新たな分野を追加し、日々業務に励んでいます。若いスタッフが多く、明るい雰囲気職場です。お一人でも多くの患者様が自立した生活を送っていただけるように、スタッフ全員が患者様を第一に考えています。また、知識・技術のレベルアップの為、部署内で勉強会を実施したり、交流を図るため定期的に懇親会を行うなど、なんでも相談できる楽しい職場です。ぜひ見学に来てください！



言語聴覚士 河野さん、渡邊さん

当院の言語聴覚士

対象となる患者様は、食べることに問題を抱えていることが多く、「少しでも口から食べたい」という希望に添えるよう、嚥下造影検査で客観的評価を行いながら、安全に食べられる可能性

を模索しています。また、NST（栄養サポートチーム）と共同し、リハビリが必要な患者様に対して、リハビリの内容を考慮したうえでの栄養管理や、栄養状態に応じたリハビリを提案しています。

『食べる』ことを一緒に支援していける方をお待ちしています。

医療・介護情報管理室について

診療情報管理士
医療事務

病院に来られた患者様が最初に訪れる受付では、痛みや不安を抱えて受診される患者様に少しでも和らいでいただける言葉掛け、インカムやタブレット問診を利用し、お待たせしないよう待ち時間の短縮に取り組んでいます。

また、毎月の勉強会において個々の請求業務の精度向上を図り、医事課全体のレベルを上げていきたいと考えています。

仕事内容

- 山陽病院の総合受付としての窓口・電話対応、外来患者様に対する外来受付・診療費請求業務
- 入院患者様に対する診療費請求業務、外来・入院の診療録データ管理、病歴管理、DPCデータ管理を行う診療情報管理業務
- 透析医療機関である山陽腎クリニック、山陽ぬままくま腎クリニックでの外来受付・診療費請求業務

現在は総勢20名（うち診療情報管理士2名）にて、これらの業務を行っています。



診療情報管理士
河本副主任

病院職員には医師や看護師、コメディカルが行った診療内容に対する理解を深めるために豊富な知識が求められます。そして何より、患者様に寄り添い、笑顔で接することができる思いやりの心が一番大切になります。

日々、新しいことを学びながら切磋琢磨し一緒に成長していける方をお待ちしています。

臨床検査科には、臨床検査技師6名が在籍しており、山陽病院の患者様と、2つの外来透析クリニックに通院される300名以上の透析患者様の検査を行っています。業務内容は、生化学等の検体検査の他、心電図、超音波検査、眼底カメラ、血圧脈波、肺機能検査等の生理検査も行っています。

治療方針を左右する重要なデータを取り扱っていますので、検査データから読み取れるわずかな病態の変化も漏らすことがないように、常に緊張感を持って業務に臨んでいます。それだけに検査結果が治療に生かされ、患者様のお役に立てることができたときは、この仕事を選んだ責任の重さとやりがいを実感します。

辰川会グループは学ぶ事に対する支援体制が整っており、院外研修へも多くのスタッフが参加しています。また、経験豊富なスタッフが多く、和やかな雰囲気の良い職場です。



放射線科について

放射線科には、常勤診療放射線技師6名が在籍し、一般撮影・CT・MRI・DR・血管造影・骨密度測定等の検査をしています。

常勤整形外科医が在籍しているため、骨折や人工関節などの関節外科治療や、透析患者様に多い手根管症候群・関節痛の治療にも力を入れております。VF検査やPTA（経皮的血管拡張術）など、チーム医療の一員として、放射線科内だけでなく言語聴覚士や臨床工学技士、看護師等の多職種との連携を図り、サービスを提供しています。

患者様が安心・安全に検査を受けられるよう思いやりの心で接するとともに放射線被ばく・放射線防護に対しても高い意識をもって臨んでいます。また、外来透析を行う山陽腎クリニック、山陽めまくま腎クリニックでの定期的な撮影も行っています。専門知識を高め、患者様との信頼関係を築くことで快適な透析ライフ支援の一助となるよう努めています。



栄養科は医療技術部に属し、現在管理栄養士4名が在籍しています。業務は給食管理（患者様への食事の提供）と栄養管理（栄養指導、NST、在宅療養管理）です。

給食管理については、患者様の栄養状態を把握し、嗜好や嚥下状態などを考慮しながら、患者様に喜んでお召し上がりいただけるような食事提供を目指しています。

栄養指導については、まず患者様の食生活状況を伺い、個々の生活スタイルに配慮した実践可能な提案を行うよう心がけています。

また、人工透析の外来専門施設である山陽腎クリニックでは患者様のベッドサイドで日々の食事内容を伺います。高リン血症、低栄養、食欲不振など様々な栄養問題を抱える患者様と向き合い何気ない会話のやり取りから信頼関係も生まれます。

NST（栄養サポートチーム）は医師を中心とした多職種のスタッフが、それぞれの知識や技術を出し合い最良の方法で栄養支援を行うチームです。その中で栄養科の役割は、栄養状態に問題のある患者様への栄養評価を行い状況に応じた食事療法の提案をすることです。常に患者様に寄り添った栄養管理を目指したいと考えています。



栄養指導（栄養相談）では食習慣の聞き取りが重要です。患者様と信頼関係を築きながら安心して話せる雰囲気作りを大切にしています。また、患者様にとって負担の少ない、最善の解決策を提案していくことを心がけています。栄養科は色々な場所で患者様と関わる機会が多く、とてもやりがいを感じています。

薬剤科について

薬剤科は、薬剤師6名・調剤補助2名の計8名で、入院患者様の調剤や服薬指導、無菌調製業務、院内医薬品の管理、医薬品の情報収集や院内への情報発信などの業務を行っています。

他部署との連携を密にとり、患者様情報の共有やカンファレンスをしっかり行い、患者様一人ひとりにあった服薬指導・服薬管理に努めています。この他、医療安全管理委員会、院内感染対策委員会などの委員会活動も積極的に行い、リスクマネージャーとしての役割を果たすとともに、糖尿病教室など教育への啓発活動にも取り組んでいます。



地域連携室にて入院患者様や外来患者様の各種相談、退院支援など幅広い場面で業務を行っています。患者様だけでなく、ご家族へも支援が必要なケースもあり、カンファレンス等を開催し他職種連携でより良い支援方法を検討しています。支援させていただくなかで、ご本人やご家族の笑顔、ありがとうという言葉が掛けられた時はこの仕事をしていてよかったと感じます。

辰川会グループは、在職者の経験年数が幅広く、どのスタッフでも様々なケースについて対応できるよう一人で抱え込むことなく業務できる体制を整えています。社会福祉士が複数いるので、経験を共にしながら基礎から取り組む事ができます。

院内での各種勉強会が充実しており、専門分野だけでなく自己啓発につながるプログラムもあり、意欲に応じて自己成長を目指す機会がもてる職場です。また、外部の研修会への参加に対しても理解があります。



記録や書類の作成などの仕事を中心に、少しずつですが自分でできることも増え、自信とやりがいを感じています。

職場内では、悩みは一人で抱え込まずみんなで話し合っ意見交換をしていて、とても働きやすい雰囲気です。

地域包括支援センターについて

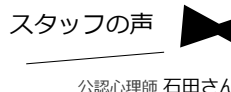
地域包括支援センターでは、地域で暮らす高齢者とその家族の介護をはじめ、福祉、医療等に関する様々な相談や介護予防（もの忘れ相談会やサロン等居場所づくり、健康教室・体操など）を行っています。保健師、社会福祉士、主任ケアマネジャー等の専門職が連携し、必要な機関と協力・調整しながら「チーム」となっており対応しています。

心理科について

心理科には、現在4名の心理士が在籍しています。チームワークの良い部署で、情報共有や相談をしながら業務に取り組んでいます。

外来や入院では、主に認知症や精神疾患の方に対する心理検査・心理面接を行っています。患者様やご家族が安心して生活できることを第一に考え、多職種と一緒に患者様の内服の必要性や対応方法についても検討しています。また、部署内外問わず定期的に勉強会を開催しており、認知症やストレスマネジメント、心理療法等についての知識を深め、日々の業務に還元するよう心がけています。

また、透析を始めたばかりの方に対する心理的サポートも行っており、より患者様の生活場面に寄り添った介入をしています。

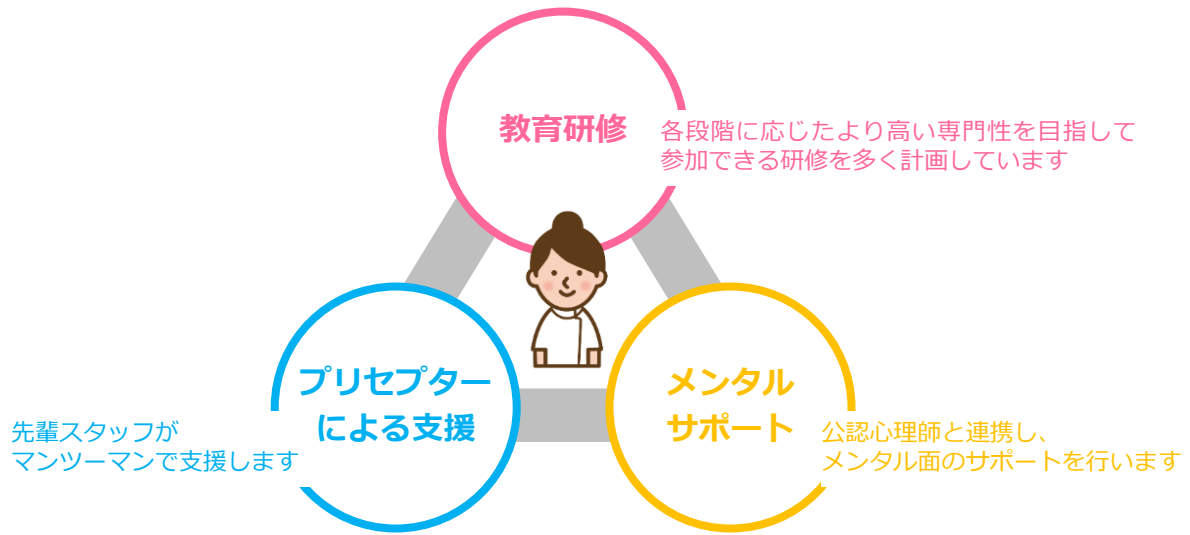


業務中はスタッフ同士がよく声かけを行っており、何でも相談しやすい雰囲気の部署です。得意なことや不得意なことは全員バラバラですが、それぞれが得意な部分を活かしながら、不得意な部分はお互いに助け合っがんばっています。

新人支援体制

辰川会では、それぞれの個性や能力を重視し、一人ひとりにあった新人教育を行っています。

プリセプターによる支援や研修・勉強会など様々な方法で着実に成長できるよう、配属先の部署だけでなく、院内全体でバックアップしていきます。



研修の様子



新入職員研修



リフレッシュ研修



フォローアップ研修

神石高原町でリフレッシュ!



年度末フォローアップ研修



採血勉強会



挿管介助研修



体位変換とポジショニング研修

年間の教育計画をもとに、新人に必要な知識・技術の習得のため、集合研修を行っています。

説明の後、演習を行います。また、予定の年間研修以外にも、新人一人ひとりの必要に応じて臨機応変に研修を追加し、新人が苦手な分野を持たないよう教育しています。

2023年度 新人看護師・臨床工学技士 研修計画

教育到達目標

○組織の一員として自覚を持ち、責任ある行動がとれる

職場に適応して日常看護業務を適切に遂行できる

○基本的な知識や技術を習得し、助言・指導を受けながら正確に安全安楽な看護サービスができる

■…看護師と臨床工学技士が参加 □…看護師のみ参加

※医療安全・感染管理については全体研修を必須で受講する

月	研修テーマ	研修目的	研修目標
4	看護部新人研修について	1年間の看護部新人研修スケジュールについて理解する	・新人教育研修の項目を理解し、開催時期、事前学習を理解し1年間の成長過程がイメージできる
	★看護倫理	・看護実践における看護倫理を学び日々の看護にいかすことができる	・看護倫理綱領が理解できる ・看護実践を倫理的視点から考え、解決の糸口を見出すことができる
	★感染対策	現場での感染対策を学ぶ 針刺し事故予防の知識を学ぶ 事故が起こった時の対処方法を学ぶ	現場での感染対策が理解でき、実践できる 針刺し事故を起こさないために注意すべき事項がわかる (使用済み針の取り扱いなど) 針刺し事故が起こった場合の対処方法がわかる
	★医療安全研修①	・インシデント報告制度の基本的な考え方がわかる ・インシデントレポートの書き方がわかる	・インシデント報告の必要性が理解できる
	看護技術「口腔ケア」「食事介助」	・食事摂取時の基本姿勢や介助方法を学ぶ ・口腔ケアの意義と方法について学ぶ	・口腔ケアの意義、誤嚥性肺炎や摂食嚥下障害との関係について理解できる ・口腔ケアの方法と実際について理解できる
	看護技術「排泄ケア」	・倫理的配慮をふまえた排泄ケアの重要性について学ぶ ・排泄パターンのアセスメントの重要性、おむつの特徴や正しいあて方について学ぶ	・排泄ケアを行う上での倫理的配慮について理解し、ケアの提供ができる ・排泄パターンのアセスメントの重要性、おむつの特徴やあて方について理解することで、患者の不快感の軽減や皮膚トラブルの予防を行うことができる
	看護技術「採血」「注射」 概論 技術	・採血・注射法の知識と手技の実際を学ぶ ・医療安全の視点を踏まえ、採血・注射を安全確実に実施するために必要な知識・技術態度を学ぶ ・採血・注射法の手技の実際を学ぶ	・注射を行うにあたり、注意すべき事項(法的責任)がわかる ・採血と血管内注射(点滴・静注)の違いが分かる ・採血・注射に必要な物品、準備ができる ・一連の流れに沿って採血・注射(静脈注射、筋肉注射)、点滴を実施できる
	看護技術 「体位変換とポジショニング」	・褥瘡対策に必要な基本知識を学ぶ ・ポジショニングの知識・技術・態度を身につける	・褥瘡対策の基礎知識が習得できる ・ポジショニングの目的、方法、実際が理解できる
	薬剤管理 【麻薬・劇薬・毒薬管理】	・麻薬・劇薬・毒薬の取り扱い方法を学ぶ	・麻薬・劇薬・毒薬の作用・副作用を理解できる ・麻薬の管理を適切に行うことができる ・法に照らし合わせ、正しく管理をすることができる ・麻薬の種類と取り扱い方がわかる ・病棟での内服管理方法がわかる
	薬剤管理 【内服薬の管理について】	・当院における内服薬の管理方法について学ぶ ・内服管理方法について知り、実行できる	・当院における内服管理方法について理解し、的確に実践できる
血糖測定とインスリン(実技)	・インスリン製剤の種類と作用・副作用がわかる ・インスリン使用患者の観察と対処方法がわかる	・インスリンの種類、作用・副作用が理解できる ・患者の状態(手術侵襲、すい臓疾患、中心静脈栄養など)により、血糖値が変動することが理解できる ・低血糖症状の観察と対処方法(報告を含む)が理解できる ・血糖測定、インスリン施注ができる	

新人支援体制（プリセプター）



見るもの、聞くもの全てが初めての新人にとって、日々の勤務は緊張の連続です。そんな新人のために、1年目は先輩がマン・ツー・マンで指導するプリセプターシップ方式を導入し、1年間を通してサポートしていきます。

また、プリセプターだけでなく、教育担当者からの支援もあります。部署全体、法人全体で新入職員の成長を応援しています。



新人スタッフからの声

プリセプターの方に、とても丁寧に教えてもらっています。緊張せずにいろんな事が聞ける雰囲気です。助かります。（Nさん）

人間関係に恵まれた職場です。プリセプターと年が近く仕事もプライベートの話も親身に聴いてくれます。（Mさん）

周りの先輩に気にかけてもらったり、フォローしてもらえ嬉しいです。支えられているなあと感じています。（Nさん）

みんな優しく、初歩的な質問にも丁寧に答えてくれます。プリセプター（指導係）の先輩にも恵まれていると感じます。（Sさん）



新人支援体制（メンタルサポート）



新しい職場・人間関係・業務内容などによる環境の変化や、入職前のイメージと現実とのギャップなど…ストレスによる心の不調に公認心理師が相談に乗ります。

入職時には、9タイプ診断で自分のタイプを知り、ストレスをコントロール！多職種と上手に連携していくためには、他者意識や自己理解、コミュニケーション力が必要です。

自分のタイプを知ることで、性格の特徴を仕事に活かすことができます。

全90問に答えると、自分が「完璧主義者」「献身家」「達成者」「芸術家」「研究者」「堅実家」「楽道家」「統率者」「調停者」のどのタイプに当てはまるかが分かり、業務や人間関係の構築に役立ちます。



キャリアアップ

専門職業人としてレベルを高めていくためには、私達一人ひとりが自ら学び、成長していかなければなりません。辰川会では、キャリア開発を積極的に支援しています。

eラーニングを利用した個別教育

- ・空いてる時間、自分のニーズや能力にあわせて受講可能
 - ・繰り返し受講できる
 - ・確認テスト理解を定着できる
- ※基礎コース・中堅コース・管理者コースに分かれています



研究発表・学会発表

学会や研究会で、自ら発表する事を通して、日常業務の見直しやレベルアップを図っています。グループ内でも毎年研究発表会が行われ、多くの職員が参加し、研究・発表を行っています。院外で発表した場合やグループの研究発表の優秀な発表には表彰が行われます。

主な参加学会・研究会

- ・全日本病院学会 ・日本透析医学会
- ・日本アクセス研究会 ・日本早期認知症学会
- ・日本老年泌尿器科学会 ・日本老年精神医学会
- ・日本血液浄化技術学会
- ・全国看護管理・教育地域ケアシステム学会
- ・中国腎不全研究会 ・備後排尿ケア研究会
- ・広島県病院学会 ・福山医学祭
- ・看護協力福山府中支部看護研究発表会
- ・消化管先進画像診断研究会 など他にも多数



グループ内勉強会・外部勉強会・講習会

それぞれの希望や能力を重視し、各段階に応じた、より高い専門性を目指して参加できるグループ内研修・外部研修を多く計画しています。



資格・認定の取得

それぞれが様々な資格や認定を取得し、専門性を深めています。新たに資格や認定を取得した人は、毎年表彰され、お祝い金が授与されます。資格や認定取得の際には、勤務調整などのサポート体制も整っています。

専門看護師・認定看護師にも挑戦できるよう積極的に支援しています
<支援内容> 入学試験対策、カウンセリング、資格取得までの勤務調整、経済的サポートなど



ローテーション

本人との面談を通して、希望を確認しながら、各人のキャリアアップになるローテーションを行っています。ローテーションを行う事で、経験が増え、スキルが上がっていきます。

ワークライフバランスの取り組み



辰川会グループでは、仕事もプライベートも大切にワークライフバランスに取り組んでいます。

子育て・介護のための 正職員短時間勤務制度

小学校入学前までの子どもがいる職員及び介護が必要な家族がいる職員は最短6時間の勤務（通常は8時間）を選択することができます



事業所内保育園（福山市認可）「おひさま保育園」

福山市認可の事業所内保育園を利用できる（対象0～2歳児）

職場からも近く、授乳に行くことも可能

祝日も運営しているため、勤務予定がたてやすい

保育料は一律15,000円/月



保育手当支給

3歳児以降は地域の保育園、幼稚園へ入所した場合1人につき上限30,000円/月まで保育手当を支給

2人以上は上限55,000円/月 その他、学童保育手当や病児保育手当もあり



育児休業取得の促進

女性職員：2022年度 14人/14人 男性職員：2022年度 2人/4人



長時間労働の削減、有給取得率UPの促進

月平均所定外労働時間：2022年度 0.5時間/有給休暇取得率：2022年度 84.9%

ナビゲーターワーキングチーム発足

理事長を中心とした様々な職種があつまり、働きやすい職場になるよう意見を出し合い、改善を行います



様々な取り組みが評価され、県や市から認定や表彰を受けています



仕事と家庭の両立支援
広島県登録マーク



ふくやまワーク・ライフ・
バランス認定マーク



広島県働き方改革実践
企業認定マーク(第3回)



ふくやまワーク・ライフ・バランス認定事業所の中で、特に優れた取組をしている事業者として表彰されました



あいサポート運動
認定マーク



イクボス同盟ひろしま
登録マーク



くるみん
認定マーク



エコ通勤優良事業所
認定マーク



広島県働き方改革実践企業として、医療法人辰川会ではワークライフバランスを重視した働き方改革に取り組んでいます

福利厚生



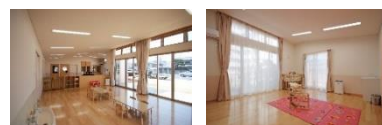
おひさま保育園

広島県福山市地吹町 13-26

医療法人辰川会が運営する事業所内保育園です。(福山市から認可を受けています)



- 開園日 : 月曜日～土曜日 (祝日含む)
- 休園日 : 日曜日
- 開園時間 : 7時30分～18時30分
- 対象年齢 : 0歳児 (生後2ヶ月) ～ 2歳児
- 対象者 : 辰川会グループ常勤職員・福山市から保育認定された方
- 定員 : 30名 (0歳児7名/1歳児11名/2歳児12名)
- 給食 : 完全給食 (アレルギー要相談)
- 料金 : 辰川会グループ常勤職員 : 15,000円/月 (法人規定による)
 福山市から保育認定された方 : 福山市の規定による



職員同士の交流

辰川会グループでは、職種・部署を越えて職員同士の交流ができるよう年間を通して様々な行事を実施しています。

新入職員研修



ボウリング大会



フォローアップ研修



ビアパーティー



ハッピーファミリーデー



研究発表会



医療事業部



介護事業部

忘年会

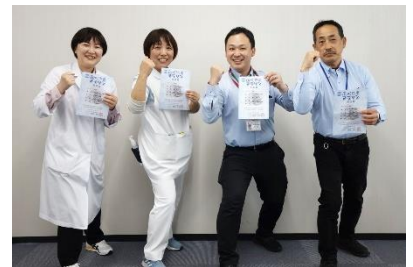


サークル活動

この他、レクリエーション部、ボウリング部、軽音楽同好会があります。スポーツ、文化系など様々なサークル活動があり、職種を超えた交流の場になっています。



釣り部



共走会

院内成人式



ヨガ部



ウクレレ部

辰川会グループの活動、地域との交流

「地域に親しまれ、信頼され、愛される病院」を目指して

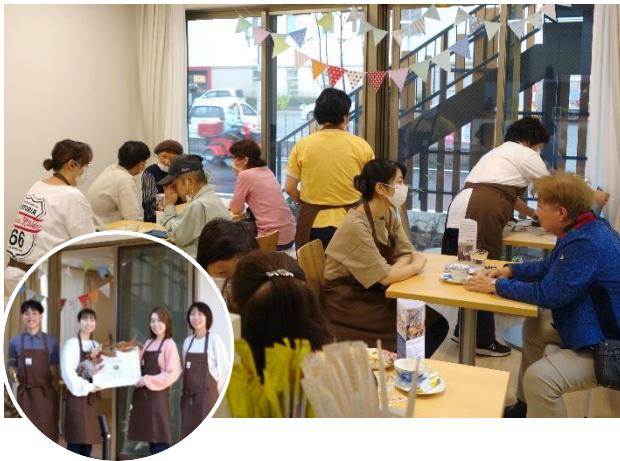
認知症サポーター養成講座

職員や地域の方に、認知症について正しく理解してもらうための養成講座を行っています。認知症の方が安心して暮らすためには、地域の方のサポートが欠かせません。多くの支援者（サポーター）を増やしていく活動です。



ともカフェ

くみねビル1階のふれあいカフェでは、医療や介護の悩みをはじめ、認知症やもの忘れについて、普段は話しにくいちょっとした悩みを相談できる交流の場を設けています。



スタンプラリー

山陽腎クリニックとデイサービスさんさん山陽を会場に、透析患者様向けのスタンプラリーを開催しています。透析治療に役立つ知識や情報を紹介しながら、職員と患者様ご家族様との交流を深めています。



糖尿病教室

山陽病院では、糖尿病についての勉強会を開催しています。入院患者様はもちろん、外来受診中の糖尿病患者様やそのご家族様など、どなたでもご参加いただけます。



音楽祭

地域の皆さまとの交流の機会を深め、音楽を通じて明るいまちづくりに寄与したいという思いで音楽祭を開催しています。霞、南、光の3学区の交流館で活動されている音楽サークルの皆さまをはじめ、辰川会からも出場し、多くの団体に出演いただきました。



介護事業所

施設・すまい

特別養護老人ホーム

特別養護老人ホームくさど
特別養護老人ホームしんがい
特別養護老人ホームひかり

ショートステイ

ショートステイクさど
ショートステイしんがい
ショートステイひかり

認知症対応型共同生活介護

グループホームおひさま

住宅系

ケアホームさんよう
(サービス付高齢者住宅)
安心の家さんよう (共同住宅)

訪問

訪問サービス

訪問看護ステーション山陽
訪問リハビリテーション山陽
ケアステーションしんがい
(定期巡回・随時対応型訪問介護看護)

通所

通所サービス

デイサービスセンターくさど
デイサービスさんさん山陽

認知症対応型通所サービス

ふぁみりえ山陽くさど

複合型 (訪問・通い・泊り)

多機能サービス

小規模多機能ホームつどおう家
小規模多機能ホームくさぶか
小規模多機能ホームひかり

相談

居宅介護支援事業所

ケアプランセンターくさど

福山市委託事業

福山市地域包括支援センター野上

社会福祉法人 さんよう 特別養護老人ホームくさど

広島県福山市草戸町5丁目8-24



施設長 : 佐藤哲郎
地域密着型介護老人福祉施設: 特別養護老人ホームくさど (29部屋)
短期入所生活介護 : ショートステイクさど (29部屋)
通所介護 : デイサービスセンターくさど (定員29名)



社会福祉法人 さんよう 特別養護老人ホームしんがい

広島県福山市新涯町3丁目19-27



施設長 : 田口繁則
地域密着型介護老人福祉施設: 特別養護老人ホームしんがい (29部屋)
短期入所生活介護 : ショートステイしんがい (29部屋)
定期巡回・随時対応型訪問介護看護: ケアステーションしんがい



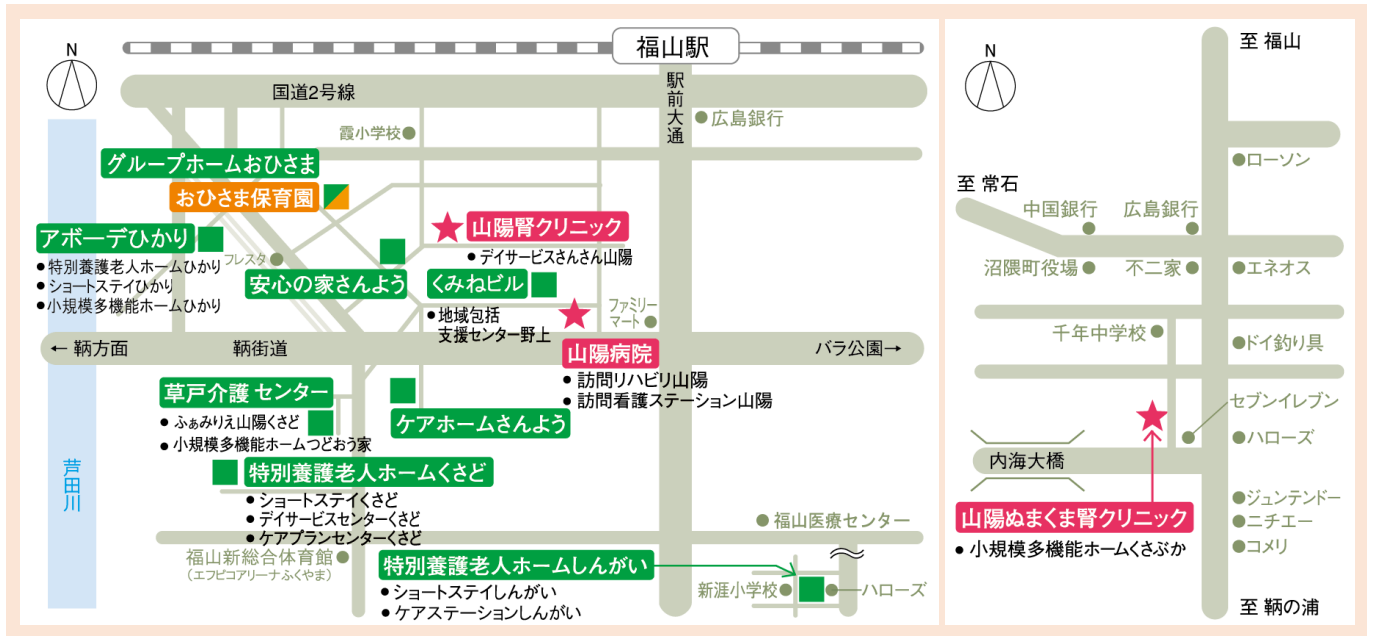
社会福祉法人 さんよう 特別養護老人ホームひかり

広島県福山市草戸町3丁目6-1



施設長 : 辰川和美
地域密着型介護老人福祉施設: 特別養護老人ホームひかり (29部屋)
短期入所生活介護 : ショートステイひかり (29部屋)
小規模多機能型居宅介護: 小規模多機能ホームひかり (8部屋・登録数29名)

グループ一覧マップ



辰川会グループ イメージキャラクター

ともしゃん



「ともしゃん」は、グループ理念「ともに歩む、ともに生きる」にちなんでできた辰川会グループのイメージキャラクターです。

約80通の応募作品から選ばれ、2014年3月に誕生しました。

世代を問わず、誰もが親しみをもて、明るく愛されるキャラクターとして活躍していきます。



辰川会グループ

〒720-0815 広島県福山市野上町2丁目8番2号

☎ 084-926-9105 (事業本部直通)

✉ info@sanyo.or.jp

